

学生相談室だより

2017年 第2号 (通算 第38号 2017年 11月 発行：京都橘大学 学生相談室)

肌寒くなってきましたね。こんにちは、学生相談室です。

台風続きで、週末毎に雨ばかりでしたが、体調を崩さないように、風邪を長引かせないよう、あったかくして過ごしてください。

さて、学生相談室では、いつも年に2回「学生相談室だより」を発行していますが、後期発行の第2号は、5名のカウンセラーがそれぞれ好きなことを綴ります。相談室の場所をまだ知らない人も、来たことがない人も、ふらっと気楽にいつでも来てください。相談はなくても、一人で過ごせる談話室もありますので、ちらっと覗きにいつでもいらしてください。

ほっと一息つきたいとき、
誰かに聞いてほしいなと思ったときや

一人で過ごしたいとき、 いつでもどうぞ♡

【カウンセラーからのひとこと】

小川 真理 (月・水・金)



担任からの通信欄「君もそろそろ本気になってください」

母の遺品整理を…と2年経っても一向に片付く気配はないのですが、書類に紛れて私の高2の時の通知票が出てきました。それなりに真面目に高校生活を送っていたのに、文面だけ見るとそうは受けとれません。クラブだけに全力を尽くしていた私に、勉学にも励みなさいというメッセージだったのでしょうが、あの頃も今も何かと両立は難しくて仕方ありません。

だからと言って1つのことに集中するのも簡単ではないですよ。学生時代までアスリートだった話は今までもちょこちょこ書いてきましたが、私にとって好きなことと得意なことが一致していたので飽きることなく競技に打ち込みました。積極的に力を入れられたわけですが…記憶はさらに遡り、小学校の選手リレー。それしか自信のなかった私はこの年2回の運動会が楽しみでした。春夏合わせて、8回くらい代表になれましたが、実際に本番に走れたのは4回くらいです。興奮しすぎた私は高熱を出してダウンとか、吐き気が止まらないとか…結局当日に選手交代…。力の入れ方がそれはそれは不器用だったのです。今はもう少し“ほどよい力加減”を身につけた気がします、思えば思うほど、力を入れれば入れるほど空回りすることもまだあります。両立できない、空回りしちゃう…取り組み方に限らず対人関係にも起こってきますよね。悩む学生さんの“力”に“少し”なれたらと思います。

河井 直美（月・火）

「やっと会えたね、ピグモン！」ウルトラ怪獣のピグモンは、身長1 m体重10 kgの小型怪獣。昔、白黒TVで見たその怪獣は、風船をつけて歩く迷い子に見え、また科学特捜隊が敵視せず、むしろ保護するかわいい存在で、最後はそんな人間を庇って他の怪獣に殺されてしまう悲しい結末がとても印象的で、ずっと心に残る愛しい怪獣でした。いくつか怪獣人形を持っていますが、なかなかピグモンに巡り合えず「あ、ピグモン？」と思えば、それはいつも「ガラモン」で、人違い、いえ怪獣違いでした。

ちなみにガラモンはウルトラQで初登場した巨大な侵略ロボット怪獣で、ピグモンとは似て非なるものです。だけど、どうやらウルトラQの時代には着ぐるみが回し使いされたようで、ガラモンがピグモンになったとも言えるわけで、似ていて当然なようですが。しかし、「ピグモン！」と思って手にしたのに、「ガラモン」という名前とわかった途端、「なんや、またガラモンかいっ」と失望する。何十年もガラモンを見つけるたび、もう買っちゃおうかな、名札を取ってピグモンだと思って、ピグモンにしてしまえばいいのだ、と何度諦めかけたことか・・・でも、あー諦めなくてよかった。やっとピグモンをゲットしました！ピグモンが人懐っこいのは、童心のまま大きくなるのが理由で、それが弱点でもあるそうです。人の良さが、いや怪獣の良さが弱点でもあるのですね。我々人間も、同じ。人の良さが人につけこまれたりいじめられたり利用されることもある。身を守るビームも学びながら、だけど、童心忘れることなかれ。

康 智善（金）

誰かのことを「ディスる」という言い方がTVバラエティ番組やネットニュースなどでよく使われていますね。もともとの言葉は英語のdisrespectで「軽蔑する、見下す」という意味で、respect「尊敬する」に否定の接頭辞が付いた反対語ですから、英語圏の文化ではごく普通に文章中に使われる単語です。「ディスる」の逆は「リスペクトする」で、英語をそのままカタカナ表記しますが、使用頻度は「ディスる」に比べると圧倒的に低いようです。近年流行しているラップでは、ビートに乗せて即興の歌詞で相手を「ディスる」ことが重視されます。バトル形式で勝敗を決めるライブイベントは、各地でかなりの盛り上がりを見せているようです。「高校生ラップ選手権」「大学生ラップ選手権」「社会人ラップ選手権」と、年代別に勝ち抜き形式のラップバトルのイベントが全国で開催されるという、ほとんどスポーツの試合みたいなノリですが、不思議なことになぜか同世代同士のバトルしかやらないんですね。高校生 vs 社会人の異世代ラップ対決とか、管理職と平社員のラップ対決なんかがあれば面白そうなんですけど、ほとんど見たことがありません。

私は趣味で音楽を長年続けていますが、ブルース、ロック、レゲエ、パンクなどの歌詞は昔から攻撃的なものが多いです。レゲエ界のレジェンド、ボブ・マーリーの代表曲『アイ・ショット・ザ・シェリフ』なんて、「俺は性根の腐った警官を撃ち殺してやったぜ」という過激な内容ですが、それは長年権力に弾圧されてきたジャマイカ民衆の怒りを代弁する歌詞なんですね。パンク・ロックの元祖となった英国のセックス・ピストルズの曲も、一貫して反権力や政治批判を歌っていた。今風に言うとまさに権力者を「ディスる」内容のオンパレードです。直接的な暴力にうったえるのではなく、あくまで音楽を武器にして権力や差別と闘う姿勢が明確でした。そういうムーブメントを経験してきた世代からすると、同じ立場同士、同じ世代同士でデ

ィスリあう音楽文化って何だろう？ ちょっと疑問に感じてしまうのは、自分がオヤジ世代になってしまったからでしょうかね。

阪本 路子（火・木）



昨夏、住み慣れた街から新しい街へと引越しをしました。転居は久々に、荷物はありえない程の量。このスペースによくこれだけの荷物（ガラクタ）が詰まっていたな、とある意味自分の収納力、或いは「押し込み力」に感動しつつも、普段から部屋の片付けが家事の中で一番苦手な私は「仕事だ、用事だ、これは直前まで使う」などと一人で言い訳をしながら直前まで荷造りを放棄してウダウダしていました。この姿勢は、学生の頃からの“提出締め切り間際にならないとレポートに手をつけられない”のと似ているな…と苦笑で、いつまで経ってもどんな状況でもこれは変わらないのだと（いつも何とかなっているから変えようとしさない、この学相だよりも言わずもがな…）そんな自分の性格を改めて思ったりもしていました。ただ今回の引越しは、それだけでなく、住み慣れた家や街がいつの間にかお気に入りで大切な居場所になっていたの、そこを離れることの不安や抵抗も手伝い、荷造りを放棄していたのだらうと思います。

果たして一年後の今…。四季の移ろいを草花の成長や虫の声、星で感じられるくらい前の街とは打って変わって自然に囲まれた生活になりましたが、それもまた心地よく私の今の「居場所」になりつつあるのを感じます。そしていつの間にか前の家のように徐々に荷物（ガラクタ）が押し込まれていくのでしょうか(笑)。

学相も、皆さんにとっての学内での「居場所」の一つになればと思っています。来室に不安はあるかもしれませんが、気軽に覗いてみてくださいね！

原田 寛子（水・木）



こんにちは、水曜と木曜に勤務しています、原田寛子といます。すっかり秋も深まってきましたね。4月から橘大学にお世話になっていますが、最近になって「こんなところにどんぐりがなってる！」「ロータリーに金木犀があったんだ」「校門近くに彼岸花が咲いてる」と、校内の自然に気が付くようになってきました。登校するたび目にしていた風景なのに、ちっとも目に入っていなかったんだと驚きます。春から勤務し始めて、仕事の事や大学の事を早く覚えなくちゃ！と目の前のことを何とか頑張っていたのですが、こうして日々ちょっとしたことに気が付いていく中で、今まで周りに目を向ける余裕が自分に無かったんだなあということが分かってきました。自分では見えているつもりでいたのに、不思議なものです。考えてみると、相談室で「語る」という行為も共通する部分があるように思います。悩んでいたり、苦しかったり、なんとなく誰かと話をしたい時は、その悩みの真ただ中において何が起きているのか自分でもよく分からない状態だけれど、少しずつ誰かに話をしていく中で、「問題に巻き込まれている自分」を少し離れて見ることができるようになっていきます。自分の問題を客観的に見ることができると、自分はどんな状態なのか、これから何ができるのかが少しずつ考えられるようになりますね。相談室で、自分を整理するお手伝いが少しでもできれば嬉しいです。ちょっと一服する気持ちで、どうぞ気軽に利用してくださいね！ゆる～い感じでお待ちしています♪

開室時間 と 予約方法



開室曜日および各担当者

月曜日	河井・小川
火曜日	河井・阪本
水曜日	原田・小川
木曜日	原田・阪本
金曜日	康・小川

受付時間

8:45 ~ 16:30

個別面接時間

① 9:00~9:40	⑤ 13:00~13:40
② 9:50~10:30	⑥ 13:50~14:30
③ 10:45~11:25	⑦ 14:45~15:25
④ 11:35~12:15	⑧ 15:35~16:15

★個別面接については、予約が原則となります。

★電話でも予約を受け付けています。

学生相談室 075-574-4239 (9:00~16:15)

医務室 075-574-4119 (9:00~18:15)

★夏期および春期の長期休暇中は、相談室の開室カレンダーでご確認ください。
長期期間中は、学生支援課 (075-574-4114) でも受け付けています。

お知らせ

学生相談室には面接室とは別に談話室もあります。

学生相談室が主催するイベントの会場にもなりますが、普段は、他のラウンジとは違って、学生相談室を利用している人、利用を考えている人、『カウンセリングを受けたいけど…』『ここを休めたい』『静かな空間で過ごしたい』と思っている人が、安心して過ごせる場所です。談話室の利用は予約もありません。

少しゆっくり過ごせる場所があればいいなと思う時は…

ぜひ、学生相談室談話室を利用してください

